

## 高校入学時に

# 学習者用端末のご準備をお願いします

県立高校では、授業や家庭学習において1人1台の端末を活用し、生徒一人ひとりの理解度や関心に応じて学ぶ「個別最適な学び」、他者と協力しながら課題に取り組む「協働的な学び」の一体的な充実を図っています。

こうした学びの中で、生徒の皆さんには、個人所有の端末を活用しながら、データの重要性や活用方法、情報セキュリティなどについて理解を深め、デジタル社会における良き担い手として成長してほしいと願っています。

これらの学びを効果的に進めるため、学習に使用する端末は、原則として、各ご家庭でご準備いただくこととしております。保護者の皆様にはご負担をおかけすることとなりますが、こうした取組の趣旨をご理解いただき、みやぎの子どもたちがデジタル社会で活躍できる人材へと成長していけるよう、ご協力をお願い申し上げます。



## 使用する端末や準備方法は、合格者説明会等で詳しく説明します。

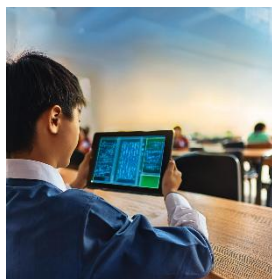
購入スケジュールや準備方法は、合格発表後に各校からご案内する予定です。特に、端末の購入については学校ごとに用意すべき端末が異なりますので、

## 学校からの説明前の購入は避けていただきますようお願いいたします。

次のような学習の場面で活用しています。



1人1人の習熟度に応じた個別最適な学習



シミュレーションなど、デジタル教材を用いて思考を深める学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習



複数の意見・考えを議論して整理



グループでの分担・共同による作品制作



遠隔地や海外の学校等との交流授業

## Q1. 家庭で用意した端末を利用するメリットは

個人の興味・関心に基づいた学びを、自由度高く行うことが出来るようになります。また、個人端末の活用を通じて、情報の収集・整理・発信といった、将来に必要な情報活用能力を養うことが出来ます。

## Q2. どのような端末を使用するのですか

現在、県立高校では、iPadやChromebookなど、学校の実情に応じて端末を選択し活用しています。各校で使用する端末（Chromebook、iPad、Windows端末等）については、合格者説明会でお知らせする予定です。

## Q3. 購入する際の価格はどれくらいになりますか

購入価格については、学校が指定する端末・仕様、物価高騰の影響や端末のモデルチェンジなどにより変化するため、現時点で正確にお示しすることは困難です。詳細は合格者説明会でお知らせします。（参考：昨年度の購入価格は、オプション（カバーなどの付属品や3年間の保証等）などを含め総額7～8万円程度となっています。）

## Q4. 準備が難しい場合はどうすればよいですか

家庭の事情等によりやむを得ず準備が難しい場合は、貸出用の端末を使用することが可能です。詳しい説明は、合格者説明会で行う予定です。

## Q5. すでに個人で所有している端末を、高校で使用することは可能ですか

学校の授業に支障なく使用できることや、ネットワークに接続するための条件を満たした端末については、持ち込みが認められる場合があります。学校ごとに条件等があるため、希望する場合は学校にご相談ください。

## Q6. タブレットの代わりにスマートフォンを使用してもよいですか

デジタル教材や教科書等の見やすさ、レポートの作成や編集、シンキングツールやデザインツールの活用、他者との意見共有等の学習にはある程度の画面の大きさが必要なことから、学習活動にスマートフォンを利用することは適さないと考えています。また、校内のWi-Fiには、私物のスマートフォンの接続はできません。

## Q7. 通信料はだれが負担するのですか

学校内で利用する場合は、学校のWi-Fiを利用することが出来ます。ご家庭で使用する際の通信料については、各家庭にご負担いただくこととなります。なお、学校のWi-Fiを利用するためには、接続手続きが必要です。

## 問合せ先

本資料に関することについて

宮城県教育庁教育企画室情報化推進班 TEL:022-211-3612 e-mail:kyoikupi@pref.miyagi.lg.jp

本校で使用予定の端末について

宮城県古川工業高等学校 TEL:0229-22-3166 e-mail:furukk-h@od.myswan.ed.jp

学校ホームページURL <https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

本校の  
情報教育目標

生徒がICT機器を通じて必要な情報モラル、ICT機器を活用する能力の育成を図ります

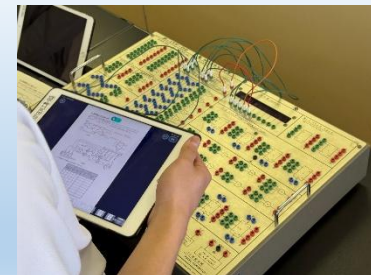
土木情報科ではこんな活用

測量実習で測定した値をICTを活用して、電子野帳に入力しています。リアルタイムで誤差を確認することで、作業効率の向上を目指しています。



電気電子科ではこんな活用

実習内容の説明や配線の仕方をICTを活用して配信することで、正しい配線方法の知識を理解し、レポート作成に活用しています。



数学ではこんな活用

課題の提出等にICTを活用しています。また、授業内で生徒どうしの考えを共有しながら、互いに学び合う授業を実施しています。



体育の授業ではこんな活用

保健では、生徒がICTを活用してプレゼンテーション資料を作成しています。グループ内での発表を通じて、自分の考えを深めることができます。



## 本校の活用のポイント！

本校ではICT機器を「座学」と「実習」の両面で活用し、普通科目だけでなく専門学科でも学びを深めています。また、課題の共有やプレゼンテーション活動を通じて、生徒どうしが学び合い主体的に考える力を育む授業づくりを推進しています。今後も、情報社会で活躍するために必要な情報モラルと情報活用能力の育成を目指します。